



## 「第4回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議」の報告

平成28年12月13日、豊島区役所・としまセンタースクエアにおいて、第4回（仮称）マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議が開催されました。

高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員、オブザーバーの計23名が参加しました。



### 1. 高野区長挨拶

今回は、折り返し地点となる第4回検討会議です。少しずつ基本計画案が固まってきており、感謝申し上げます。

前回は、図面を見ながら意見やアイデアをいただきました。今回は、さらにイメージを膨らませながら議論を深めていただきたいと思います。今回の意見をもとに、次回は（仮称）マンガの聖地としまミュージアム基本計画のたたき台をお示ししたいと思っております。

### 2. 議事

#### (1) 基本理念・基本方針および事業活動の具体的な展開について

事務局より、（仮称）マンガの聖地としまミュージアムの基本理念、基本方針を再確認するため、想定される利用者像と楽しみ方に関する検討資料を説明しました。さらに、前回議論した事業活動の展開について議論を深めるため、展示公開事業、回遊促進事業、利用者サービス事業を取り上げ、写真や事例を示しながら、説明を行いました。

これらの説明を踏まえ、各委員による意見交換が行われました。

#### (2) 設計スケジュールの変更について

事務局より、第1回検討会議で説明した整備スケジュールに対する変更について報告しました。

当初計画では、平成29年初頭より建物及び展示の基本設計に着手するとしていましたが、3月末の基本計画策定を待って、平成29年4月から着手するよう変更します。なお、平成32年3月の開館予定は変更ありません。

### 委員の主な意見

#### ■基本理念・基本方針（案）に対する意見

- ・池袋を訪れるマンガ・アニメファン以外に、秋葉原や中野のマンガ・アニメファンも視野に入れる必要がある。
- ・一般の観光客の来館も想定すべき。
- ・こうした記念館では、開館当初は来館者が多くても3年目から激減することが多い。集客力を確保するためには、コンテンツを発信し続けることが大事。豊島区では、集客力を維持するためのコンテンツを発信し続けられるのか、あるいは、集客が減っても文化施設として維持していくのかをはっきりさせた上で、そのために必要な機能や施設のあり方を考える必要がある。

#### ■展示公開事業に対する意見

- ・トキワ荘において、生活と仕事は一体だった。トイレも含めて、2階を全てそのまま再現してほしい。
- ・どこかにアニメを上映できるところがあると良い。来館者が、作品を選んで見られるような設備がほしい。
- ・『漫画少年』は入手可能なので、購入して展示してほしい。
- ・再現展示を行うマンガ家の居室に、マンガ家のフィギュアを制作し、座って仕事をしている様子を再現してほしい。
- ・来館者が再現したマンガ家の居室に入って、机に向かったり、その様子を写真撮影できるようにしてほしい。
- ・著作権を保護するため、原稿等の著作物の撮影は許可されない可能性が高い。来館者による写真撮影を許可する場合、居室に原稿等を展示することができなくなってしまう。
- ・杉並アニメーションミュージアムは開館して12年たつが、来館者はあまり減っていない。そうするためには、常に新しい企画展を行うなど、展示を更新していくことが重要。

#### ■回遊促進事業に対する意見

- ・マンガの聖地を文化遺産として将来に継承するため、地域住民により、コミュニティカフェやマンガカフェの開設を検討している。
- ・シャッター通りになっているのであれば、シャッターにマンガや吹き出しを書いて撮影できるスポットにしてはどうか。
- ・マンガやアニメに関する資源を有する杉並区や中野区、練馬区等の周辺自治体との連携も検討すべき。

#### ■利用者サービス事業に対する意見

- ・トキワ荘通りの色々な店舗にマンガ閲覧スペースを設けることができると良い。
- ・ミュージアムショップや休憩場所を地域に分散して設置する場合、ミュージアム内にもある程度の機能を確保する備えるべき。さらに、ミュージアムグッズのサンプルを置いたり、ミュージアムショップや休憩場所の紹介も必要。
- ・展示資料の紛失や汚損等を抑制するための監視員、来館者に開設するガイド等、スタッフの確保が重要。